

No. 64
 あーら札幌連絡先
 細田英理子
 TEL. 644-2927
 通信担当
 松平明美
 TEL. 782-3338

今日の内容

4月例会報告	---	1.2	呼びかけ	-----	6
私とあーら	-----	3	託児考	-----	7
集會参加記	-----	4.5	5月例会案内	-----	7
私の読んだ本	-----	6	情報	-----	8

1984年4月30日 発行

「子どもがあふない」 Part I

四月例会は小雨が降る寒い日でしたか、12名の参加で始まりました。今回は、登校拒否といじめについて考えてみることにしました。

レポートとして新聞、テレビから出来るだけ情報を吸収しようと、切り抜きしたり、出来るだけ子供達の生の声を聞こうとテレビを見る時間を取ってみました。

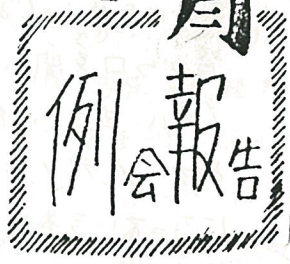
I 登校拒否について

★ 学校教育の重圧

高校で中退する理由として

	S.57年度	S.55年度
1. 学校生活 学業) 不適応	13,962人	8,436人
2. 進路変更	12,892人	9,659人
3. 学業不振	12,086人	13,918人
4. 問題行動等	6,806人	7,241人
5. 家庭の事情	6,390人	5,113人
高校中退者数	65,314人	

4月



あーら8月号読書会

登校拒否と少し異なるか、せっかく入学した高校をこいたけ多くの生徒が退学していくのには、現在の学校制度

そのものに無理があるのではないだろうか。出来るも出来ないも通り一遍の授業で終るやり方、詰め込み過ぎの内容、わからない授業を聞いていても面白くない。授業時間に集中出来ない程鈍い教室等あまりにも悪循環である。登校拒否の一番の原因になるのは、ついていけない学校の勉強のあり方にあるのではないだろうか。

★ 家族形態の変化

核家族化が進み、しつけのあり方、良い習慣の継承等マイスな面が多く、一人子、二人子の家族関係、自分の家庭力知らないで育つ子供が増えていると思う。

★ 社会状況の変化

テレビ雑誌から知った影響で、私達が知らなかった身から、目から耳から入って来たり、中高生売春、シニター、暴力団とのつながり、覚醒剤、甘い誘惑が身近にあり、その良い悪いの判断が出来ない子供達の急増が拍車を掛けているのではないだろうか。

Ⅱ いじめ - どう一つの校内暴力

3月20日 NHK 9:00からの番組で、たかひたり、いじめられたりするよりど、皆から口を聞いてとらえない方がとてと辛く、生きていたくないと言う子、いじめか / 対 / ではなく、集団で行うようになっていく事実、いじめか原因で夜間中学へ転校していく生徒の話、いじめられた子供達は学校の先生か嫌いだと言う、かほうべきの先生かそんな子供達はいないと、いじめを把握していないこと、この何れの例も、学校全体か情緒不安定であり、先生かそれに対応していないのではないかと思えます。

(レジメより)

これをとくに出来るだけ皆の現状を話し合うことに時間を取ってみました。

保育園、幼稚園ですでに班作りか始まっており、管理しやすいように、集団責任で、保育をしているそうです。ただ救われたのは、ある保育園で障害者と健勝者と一緒に保育をしており小さい頃から助け合いの気持ちか生

まれている良い例もあるとか、それが延長して、学校、社会へと続いていったら、差別かなくなる世の中になるのではないかと思うという意見か出ておりました。

学校へ行っからは班作りはとより先生が良い悪い子のイメージ作りをしてしまい個性を伸ばす芽を摘んでしまっているのではないか、教員の世界ほど忙しかつネ社会はないのではないか、コネから生れる人材か教育界を汚染しているのだから、充分な教育かその人達の手で出来るのだろうか、等語か出されました。

私の息子も小学校三年、学校か始まったばかりなのに後まで残る教室だまりに、実名で、いやな日の主人公にされ、口を開かした息子をしゃべらそうと図工の時間を潰して説得したそうです。最後にはしゃべって、嬉しかったとある。登校拒否か二年頃から表わしている息子は、次の日は、腹痛で遅刻、手紙で抗議をした返事には、戦やる戦せないはとてかく、感動的なシーンになったとか、先生にとって感動的であつても息子にとっては、苦痛以外のなにものでもなかつた事に気が付いていないのだろうか、先生か替って喜こんだのと束の間前途多難である。最後に、田中美津の「あたしのおへんか言うことにや..と読んで生活していくしたかさを子供達は身に付けてほしいというお話で終わりました。

- 荻野 -



私とあごら No.14

佐藤陽子

3年半程前、道新の伝言板で“あごら”の存在を知り、初めて顔を出してみた。その頃3歳とを母乳で育てていたので、子供扱きで外出できた初めての夜だった。今でも“あごら”は私にとって、精神を高揚させる場であるか。その時は、特に強烈だった。毎日の母子密着状態、話をして3歳の子供の話、やっとな人の女達と語れた。(実は話をきいているだけだったか)という感じで興奮状態だった。2次会もつきあい、家へ11時すぎに帰ると、夫は疲れた顔をして、“とうだった”と聞いたので、エネルギーを吸収して帰った私は、意気揚々と話しかけた。

3歳の頃から、祖父母の天婦郎人か悩まされながら育った私は結婚に夢が持てなかった。人並に恋に恋する事はあったが、現実となると、すぐに杵にはめたがる男達に絶

望を感じ、妥協して結婚するならしない方がましと思っていた。しかし、運命のいたずらから、恋愛恐怖症の私が、(夫曰く、男性憎悪症)こうして3歳まで生んでいく。

大学卒業後、専門と関係のない仕事をし目を見くらし、お金にはならなかつた。おもしろそうな日本語教師という仕事をしていた。そこでは能力主義、しかも全員女性教師に外国人校長という訳で、自由な雰囲気の仕事が楽しかった。

しかし、ひょんなことからアメリカ人と結婚する事になり、子供を英語で育てるために専業主婦となったが、非常にストレスがたまつた。元々家庭向きに育っていない事と自分の母国語でない言葉で子供を育てることが重荷だった。更に、私自身の仕事が無くなったというキャリア喪失感が一番強かったと思う。わけもなく、仕事へ行く夫にけんかを吹かけて、“あなたは行く所があつていい。私にはない”と言うと、涙が流れ出した。

“あごら”との関りはばかりで長くなったが、その後の病気入院、引越、養母の世話等で“あごら”に与えてもらうばかりで、返してない私です。今はまたあごらの仲間によって鍛えられている状態ですが、将来はなにかしらの力で、サポートできる様になりたいと思っています。

秋山ちえ子

「この頃 思うこと」を聞いて

佐藤陽子

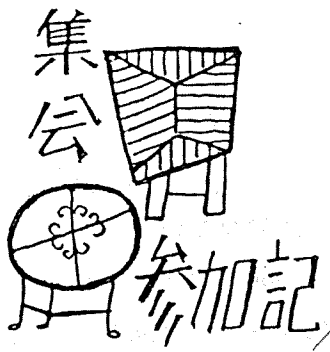
札幌市主催の婦人の為の講演会を今年で8回目だそうで、今回は特に中高年の姿が目立った。市民会館大ホールに立見かである盛況であった。選記者が3人いて、プロシクターを使って、聴力障害者の便宜を計っていたのが新しかった。以下内容の一部を紹介。

人間にとって労働力とは喜びである。盛岡福祉バンクの大島さんは、自分自身も車イスであるが、古い水道局を使ってリサイクルをしている。そこに手伝いに来る人は一律一日五百円で、誰でも受け入れている。あるお婆さんはお茶くみを専問にしているし、ある身障者は運びを専問にして、自分達のできる事をやっている。大島さんは車イスでよく旅行をする。車イスだから、多くの人の助けが必要とするが、彼はそれを「車イスは僕の個性だ」という。こう言える迄に彼は長い間とんな思いをして今の心境に行きついたことだろう。同じく、悩性マセの女の子を持つ夫婦はとってて明るい。しかし、何度も子供を殺して自分達も死ぬうと思いつめた。今は、神様が自分達も若くて、育てる能力があるからこの子を授けてくれたと考えている。戦後、セの人が強くなったと言われるが、不平不満はずっと多くなった気がする。物

が豊かになるにつれ、あの家へたから私の家と、自分にとっての幸せとは何かをつきつめずに、機械に走っている。

実母が一昨年86才でなくなったが、二人で何か幸せかをよく話していた。健康と自分の能力や体力に依じた労働力の喜びをえることと、苦しまないで死ぬることが彼女の幸せだった。年をとることとその人の個性の一部と見て、長年の経験を社会に還元してゆく事ができると、老人と喜びがみいだせる。

私自身の息子と学校の成績が悪く、成長して幸せになれないと思いつめ、死を考えた時、教育とは、一何何かとどう一度思い直した。学歴だけか子供を幸せにするのか？ その子にとって真の幸せとは何か。今の教育で欠けているのは愛情とやさしさである。また、能率主義に徹する余り、基本的な生活態度をみおとしている。母親が口先だけだけでなく、こらえろ子供に態度で示し、一人一人の幸せを考えてゆきたい等々。秋山さんは私にとって、名前を知っている程度だったが、話を聞いていて心に暖かさが残った。



第36回 婦人週間、北海道婦人会議

「デンマークにおける男女の平等」

講師 高橋展子(前デンマーク大使)

今村 雅子

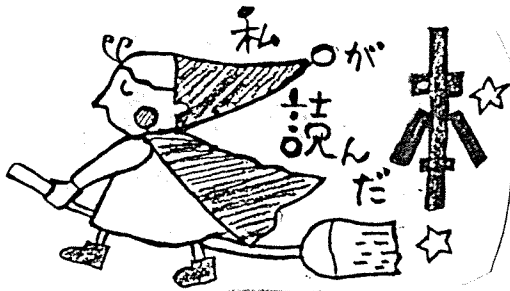
公の肝入行事だけあって、知事のあいさつからはじまった。「さあお役人！」と感嘆符をつけた位、上手に、そつなくテーマについて語り、日本の実情だとか、それに対する感想だとかは、すっかりと削除していた。つまり物議をかもしそうなことは何も語らなかつたということ。婦人問題を語ろうと思う時、その国の社会事情と切り離しては語れないからという前置で、デンマークの経済事情、国民生活、国民性、国際社会の中での位置など、わかりやすい説明があった。かいつまんで述べると、王室があるけど議会は一院制で、比例代表制、絶対多数の党がなく、政局は不安定だが、全ての政党の政策が細かいところまで、はっきりしているので、連立内閣となっても、混乱が少ない。国民の政治意識が非常に高く、経済的には豊か。それで最近の不況で外国借入金がかさんでいる。社会保障は行き届いている。税金は高いが将来に対する不安がないので、不満は少ない。税金は所得に応じて率があかり、学歴差による所得の差が少ないので、進学率も低く、受験地獄はない。政治、政府に対する信頼感があり、生活は質素。ヒューマニズムに裏打ちされた。良識のある国で、そのため国際

信用度が非常に高い。婦人問題がマスコミに登場しない位、問題が少ない。議員の多くが女性であり、政治に意見を通すパイプができてあかっている。既婚婦人の60%が外で労働している。総理の妻とジャーナリストで、彼のスケジュールと妻のスケジュールと調整して決めたりする程、其働きが当たり前になっている。1975年に設立された平等委員会が強い権限をもち、様々な分野での平等が今も、推進されている。何だか聞いているとため息のするような平等が、次々と語られ、講師曰く、「日本の実情と較べて御参考まで」

こうした平等が推進されるようになったプロセスについても聞きたかったが、質疑応答の時間までいらぬず、残りにはきあげた。

よく似たお国柄のスウェーデンでも、解放運動以前は日本と大差ない差別がまかり通っていたというから、黙ってこうした結構づくめになつたんじゃないことは確かだろうと思った。日本でもかんはらなくちゃねえ





スウェーデン「女性解放のうり」

家政教育社

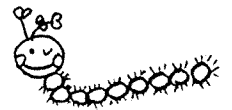
題名からは堅苦しくラジカルな印象を受け
けるが、内容は日常的、具体的に書かれて、
非常に読み易く「楽しんで読む」事が出来る。
スウェーデンと言うととて女性解放が進
んでいる様に考えていたが、現実とは全く違
い、女の状況は普遍的なのだなぁとつくづく
感じた。けれども人々に抑圧されて生きる
事を楽しみ、自ら差別をはねのけていこうとする

姿勢が読みといて、読後ため息が出る様
な重さをひきずっていないのが良い。

家庭で、職場で、社会で等の章に分け、
その定義付け、状況が書かれた後必ず
「貴方が今日から実行できる事」という
項目があり、例之は「女という事で特別
親切に扱われる事を求めるな」とか「職
業観に主婦と書き込むな」等徴に入り
細に入って具体的に行動出来る様書か
れていてその項目を読んだだけで充分
差別とうまくつき合い、自ら自分なりに取り
組む事が出来るのだと勇気がわいてくる。
是非一読をお勧めします。きっと貴方にと
貴方なりの解決法を見い出せると思っ
ますヨ。

加我博子 記

「巡航核ミサイルトマホークの配備を許すな！」
反核北海道行動」への呼びかけ



細谷洋子

2月から続けられていた「朝鮮有事」
を想定した米韓合同軍事演習「チームスピ
リット'84」では、米軍が横田、岩国、沖
縄などを出撃基地としており、エンター
プライズ、佐世保入港、横須賀への頻
繁な原子力潜水艦入港など、日本の軍事的
役割はますます強まっています。そして今
配備されるようとしているトマホークは、日本
の核基地化を一気に押し進めるもので
す。中曽根政権はこれまで「非核三原則」
をタテに黒いもので白と言いくるめ、同時に民
衆の側と思ふことに気付かぬからとそ
こに淡い期待をかけてきました。それ

が、どう完全に打ち砕かしようとしているの
です。

たゞとすれば、今私たちの前に明らか
なのは、平和は期待するものではなく、民衆の
力で作りあげていくものだということです。

そのために、「反トマホーク」の声をあげ
る署名活動、街頭情宣、「反トマホーク」
を考える連続講座等の企画、集会、デモ
コンストレーションを計画しています。幅広い
参加を呼びかけます。

[連絡先] 北区北18条西5丁目ニコミ喫茶
「ひらひら」 (011) 746-2801
「トマホークの配備を許すな! 反核北海道行動」

集会託児について

<その8>

伊藤雅子さんが、あごらNO.21くらと母の関係を問う>の中で、親離れが良いというは親から離れることに馬鹿で鈍感になることではない、親から離れている間変らぬ安定感を保ち続けられることであると書いています。預かる時、預ける時、泣く。あっさりと離れる子達を眺めながら、4年間、このノ行にこたわり続けてきた。

変らぬ信頼 一何と重い課題であったらう。

しかし、判らない所はひっくり返して考えよという田中美津式思考法でいけば、いつも一緒にいれるは信頼を持ち得るのかということになる。そうなのだった。神ならぬ生身の平凡な母親が、胸をはって、「私とこの子の間には揺るさない信頼関係ができていますよ」と言いきいたら、むしろ不思議だ。私たちにできることは、これで良いのだらうかと自らに問い返しつづきとを見つめていくことだけだ。絶対に善をなしているという確信は、くらとのためという美名の

陰に隠れた自己愛 = 母親としての自分の満足を見えにくくしてしまう。

私が託児に関わり出した契機は、母親の生活の豊かさくらとと生活の豊かさはきっととれないものだという

思いだった。精一杯我が人生を生きさりたい。のびやかに我がくらとと違に向かい合いたい。そんな思いだった。長いこと集会託児について考え続けてきて、今、やはりこの思いに立ち戻る。

集会託児は是非かを、手を束ねて話し合うのはどうやめよう。

託児村の一行が、足を踏み出

しかねている母親たちをどんなに励まし勇気づけるものであるかを私は何度も体験してきた。

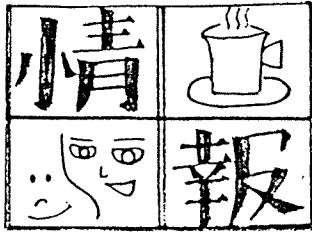
学びたいという母親の思いを実現させる方法の一つではあるのだ。信頼は関係を紡いでいく中で生まれるものだ。ととって、案外たくましいものだ。

(託児考について 異論、反論、感想等) 投稿をお待ちしています

細谷 洋三 記



<p>5月 例会案内</p>	<p>テーマ 「ウーマンリブとマニリブ」</p>
<p>5月13日(日) 6:30PM</p>	<p>今年、1月、読売新聞で'84世界の情景、一男vsセーというのか、連載されました。各国女性解放運動が、今、どういう展開をみ</p>
<p>喫茶のあ (511-1377) 司会 中山和夫 レポーター 今村雅子</p>	<p>せ、社会にどのような影響を及ぼしているのか。またマスキュリズム(男権運動)の登場について。中々興味深い読み物でした。皆と共に読み、日本の現状と比較しつつ、今後の方向を探してみたいと思います。</p>



「まやかしの雇用平等法をつぶせ」 全道集会

日時 5月5日(土)午後1時
場所 婦人文化センター
主催 労基法改悪を阻止する全道婦人連絡会

5/13(日) 反トマホーク連絡講座2 「反核、母の日コンサート」

□ 出演: 中南米フォークロア・他 □ スライド 予定

⇒ 教育会館(中央区南3西12) 1:00PM ~ カパ ¥300

6月上旬 ストップ/トマホーク 全道キャラバン

アジアの仲間と共にトマホークの極東配備を考える

⇒ 帯広・釧路・北見・旭川・札幌・江別・小樽・八雲 などと予定

「第九歌謡曲 第一楽章」

— 5月3日発売 —

憲法第九条の一項、二項を歌ったこの

歌い手 上田文雄弁護士

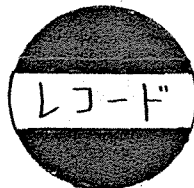
作曲者 楢村一志

価格 700円

希望者は加我さんまで

TEL(日中) 811 ~ 3501

(夜) 882 ~ 0584



文化講演会

「つららの彫刻」

— アイス・クリスタル・ファンタジー —

著作権獲得への裁判支援呼びかけ

日時 5月14日(月)午後6時

場所 中央区民センター

講師 竹中敏洋 (芸術家)

村松弘康 (弁護士) など

竹中氏は、長年、層雲峡の氷瀑祭り、支笏湖の氷満祭りで、その目玉となる氷像作りにあたってきた。しかし、観光団体はそのノウハウを知るや、契約の打ちさりを通告してきた。氷像を芸術作品として認めさせ、その著作権を獲得するためにこれから裁判闘争を始めるにあたって、支援を呼びかける。

「あとがき」



岡本さん 結婚(4/21)おめでとう。

カニバッチ、様々な思いを込めて